

いまさら聞けない



いまだから聞きたい

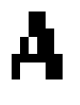
このコーナーでは読者の皆さんのインターネットに関する疑問や質問にお答えします。「?」と感じたことはどのようなことでも構いませんので、下記のメールアドレスまでご質問ください。なお、ご質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。
ご質問はこちらまで
im-faq@impress.co.jp

今月のポイント

- 1 画像ファイルで感染するウイルスが本当にあるの？
- 2 ブログの迷惑コメントを防ぐ方法は？



画像ファイルを開くだけで感染するウイルスがあると聞きました。どうやって気を付けたいのでしょうか。
(北海道 馬場さん)



これまでほとんどのコンピュータウイルスは、それ自体がデータの破壊やほかのパソコンへの感染などの機能を持つプログラムファイルであるものや、マクロウイルスと呼ばれるワードやエクセルなどの特定のアプリケーションで作成したデータファイルに感染するものが一般的でした。このため、画像ファイルやテキストファイルなど、純粋にデータだけのファイルにはウイルスの心配をする必要はありませんでした。

ところが最近、JPEGファイルによって広まるウイルスの危険性が出てきました。現在のところ、このJPEGファイルによって感染するウイルスは「AOL Instant Messenger」を対象にしたものだけが確認されていますが、原理的にはエクスプローラのプレビュー機能でJPEG画像を見たり、インターネットエクスプローラで表示したウェブページにJPEG画像が使われていたりただで感染する可能性があり、非常に危険性が高いものです。

このウイルスは、9月15日にマイクロソフトから公開された [URL01](#)、Windows XP など多くのマイクロソフト製品で発見された、JPEGなどの画像ファイル処理する仕組みに関するプログラムの欠陥を利用したものです。この画像処理の仕組みを利用しているソフトはWindows XPだけでなく、Office XP/2003や、Visual Studio .NET 2003など多岐にわたり、影響が大変大きいものでした(下表)。

問題を解決した修正ファイルがすでにマイクロソフトから配布されているので、Windowsアップデートやオフィスアップデートを行うことで修正できます。ただし、自分

が使用しているOSが影響を受けないものであっても、影響を受けるソフトウェアをインストールしている場合は問題があるので注意が必要です。

また、Windowsアップデートやオフィスアップデートだけでは修正できないアプリケーションもあるので、自分が使用しているソフトウェアの情報をしっかりチェックして、対処しなければなりません [URL02](#)。

(城戸芳充)

[URL01](http://www.microsoft.com/japan/technet/security/bulletin/MS04-028.asp) http://www.microsoft.com/japan/technet/security/bulletin/MS04-028.asp

[URL02](http://www.forest.impress.co.jp/article/2004/09/15/jpeggdi.html) http://www.forest.impress.co.jp/article/2004/09/15/jpeggdi.html

影響を受けるソフトウェアの例

ソフトウェアの種類	製品名	
オペレーティングシステムとコンポーネント	Windows XP/XP SP1	Windows Server 2003
	インターネットエクスプローラ6 SP1	.NET Framework version 1.1
その他のソフトウェア	Office XP SP3	Office 2003
	Project 2002	Visio 2003
	Visual Studio .NET 2003	Visual Studio .NET 2002
	Picture It! Express Version 2003	デジカメスタジオ version 9

**Windowsの画像処理プログラムの問題
今すぐWindowsアップデートなどで対応を**



Q

ブログにアダルトサイトの宣伝や英語のコメントが付くようになってしまいました。どうすれば防げますか？
(岡山県 関根さん)

A

ブログを運営していくうえで悩まされることの1つが、営利や勧誘などを目的としたスパム(迷惑)行為です。多くのブログでは他のユーザーが記事にコメントを付けたり、トラックバックを送ったりを自由にできるようにしていますが、それを悪用して宣伝目的でサイトのURLを入れたコメントやトラックバックを付ける「スパム」行為が多くなっています自分が取り上げた話題とはまったく無関係の投稿やURLが、コメントやトラックバックとして記録されてしまうのは不快なもので、気が付くとブログの記事がスパムコメントで埋め尽くされているとも珍しくありません。

ブログに対するスパム行為が増えているのには理由があります。まず1つには、人気のあるブログサイトならばコメントやトラックバックを付けられ、それだけで多くの人の目に触れることになるからです。

2つ目の理由は、ブログのSEO効果の高さを利用するためです。一般的にブログサイトはHTMLの構造が正しく作られているため、検索エンジンの結果で上位になる傾向があると言われています。また、検索結果で上位のサイトからリンクを貼ると、貼られた先のサイトも上位になりやすいと言われています。この効果を利用して、多くのブログに自分のURLとともにコメントを付けられ、自分のサイトを検索結果で上位に押し上げることができるのです。

こうしたブログに対するスパム行為を防ぐためには、いくつか手段があります(別表

「迷惑メールと同じく宣伝が目的 複数の方法やツールで対応する」といい

を参考)。中でも注目なのが、Movable Type 3.0以降から導入された「TypeKey」[URL03](#)という仕組みです。これはMovable Typeの開発元であるシックス・アパートが運営する、ユーザー認証サービスで、誰でも無料で登録でき、ブログの運営側も無償で認証システムを利用できます。

ブログでTypeKeyの認証システムを利用すると、ユーザーごとにブログへのコメントを「許可」「拒否」「確認するまで保留」のどれかを設定できます。友人には常に許可をして、知らない人の場合には「確認するまで保留」といった個別の設定ができるので、管理の手間を大幅に省けます。

TypeKeyのほかにも、表で紹介している防御方法をいくつか組み合わせて行えば、ほとんどのスパムは回避できます。ただし、スパムの手口も日進月歩なので、防御しきれないスパムが出てきてしまうこともあるでしょう。そういったスパムに対するベストの

対処法は、腹立ち紛れに記事にしたりするよりも、淡々と見逃さずすべて削除することです。(城戸芳克)

[URL03](http://www.typekey.com/) http://www.typekey.com/

[URL04](http://kengo.preston-net.com/archives/001383.shtml) http://kengo.preston-net.com/archives/001383.shtml

[URL05](http://linkage.xrea.jp/article/2004/03/spamblock.php) http://linkage.xrea.jp/article/2004/03/spamblock.php

[URL06](http://akihi.net/blog/archives/000119.html) http://akihi.net/blog/archives/000119.html



ブログの内容にまったく関係のないコメントは、古いエントリーをねらって付けられることが多いようだ。

ブログのスパム対策とその効果

対策方法	効果
古い記事へのコメント投稿を不可にする	簡単にできるが、完璧ではない
過去にスパムを送ってきたIPアドレスからのコメント投稿を禁止する	簡単にできるが、完璧ではない
「mt-comments.cgi」のファイル名を変更し、新しいファイル名をmt.cfgで指定する	Movable Typeのみだが簡単にできる。自動処理のスパムはかなり防げる
TypeKeyを使った認証と許可の仕組みを導入する	Movable Type 3.0以上なら簡単にでき、効果は高い
非定型の文字列などを特定の欄に入力しなければコメントを投稿できない仕組みを導入する URL04	プラグインなどを使って自分で仕組みを作る必要があるが、自動処理のスパムはかなり防げる
連続で投稿できる間隔を設定し、連続したスパムを遮断する URL05	プラグインなどを使って自分で仕組みを作る必要があるが、自動処理のスパムはかなり防げる
日本語が含まれていない、英語だけや中国語だけのコメントをブロックする URL06	プラグインなどを使って自分で仕組みを作る必要があるが、日本語以外のスパムはほぼ防げる



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp